

# 小牧市在宅医療・介護連携推進事業 ～令和3年度実績報告～

令和5年2月9日(木)

小牧市 福祉部 地域包括ケア推進課  
小牧市在宅医療・介護連携サポートセンター

## ■在宅医療・介護連携推進事業とは

平成27年度から市町村実施事業として位置付けられた事業。

厚生労働省老健局老人保健課が発行する『在宅医療・介護連携推進事業の手引き』によると、事業の目的は「地域における現状の社会資源を正確に理解し、住民のニーズに基づき、地域のめざすべき姿はどのようなものかを考えた上で、医療・介護関係者との協働・連携を円滑に進めることで、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を推進する」とされている。

令和2年9月には事業の見直しが図られ、**切れ目のない在宅医療と介護の提供体制を構築するため**、取り組み内容の充実を図りつつ、PDCAサイクルに沿った取り組みを継続的に行うことで事業でめざす姿の実現がなされるよう改訂された。

# ■在宅医療・介護連携推進事業とは

令和2年9月から移行

## 「8つの事業項目」から「PDCAサイクルに沿った取組」への見直しイメージ

事業全体の目的を明確化しつつPDCAサイクルに沿った取組を実施しやすくする  
観点、地域の実情に応じてより柔軟な運用を可能にする観点からの見直し

### ①地域の医療介護連携の実態把握、課題の検討、課題に応じた施策立案

#### (ア) 地域の医療・介護の資源の把握

- 地域の医療機関、介護事業所の機能等を情報収集
- 情報を整理しリストやマップ等必要な媒体を選択して共有・活用

#### (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握・共有し、課題の抽出、対応策を検討

### ②地域の関係者との関係構築・人材育成

#### (カ) 医療・介護関係者の研修

- 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実際を習得
- 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催 等

### ③ (ア) (イ) に基づいた取組の実施

#### (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

#### (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- 情報共有シート、地域連携バス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援
- 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用

#### (オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援

- 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援

#### (キ) 地域住民への普及啓発

- 地域住民を対象にしたシンポジウム等の開催
- パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発
- 在宅での看取りについての講演会の開催等

#### (ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

### 地域のめざす理想像

- 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築

### ①現状分析・課題抽出・施策立案

#### (ア) 地域の医療・介護の資源の把握

- 地域の医療機関、介護事業所の機能等を情報収集
- 情報を整理しリストやマップ等必要な媒体を選択して共有・活用

#### (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出

- 将来の人口動態、地域特性に応じたニーズの推計（在宅医療など）

#### (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

### ②対応策の実施

#### (オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援

- コーディネーターの配置等による相談窓口の設置
- 関係者の連携を支援する相談会の開催

#### (キ) 地域住民への普及啓発

- 地域住民等に対する講演会やシンポジウムの開催
- 周知資料やHP等の作成

+

<地域の実情を踏まえた柔軟な実施が可能>

#### (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- 在宅での看取りや入退院時等に活用できるような情報共有ツールの作成・活用

#### (カ) 医療・介護関係者の研修

- 多職種の協働・連携に関する研修の実施（地域ケア会議含む）
- 医療・介護に関する研修の実施

- 地域の実情に応じて行う医療・介護関係者への支援の実施

### ③対応策の評価・改善

#### 都道府県主体の役割へ変更

(都道府県は、地域医療介護総合確保基金や保険者機能強化推進交付金等の財源を活用した、保健所等を活用し、②対応策の実施も必要に応じ支援。)

●総合事業など他の地域支援事業等との連携

1

# ■小牧市在宅医療・介護連携推進事業

## (ア) 地域の医療・介護の資源の把握

- ①医療・介護マップ
- ②医療とケアマネー一覧
- ③こまきハートフルパーキング

## (イ) 在宅医療・介護連携の課題抽出

- ①小牧市在宅医療・介護連携推進協議会
- ②小牧市在宅医療・介護連携サポートセンター会議
- ③地域ケア会議

## (ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

- ①副科紹介支援

## (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

- ①こまきつながるくん連絡帳
- ②医療と介護の連携シート

## (オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援

- ①相談支援体制
- ②相談支援実績

## (カ) 医療・介護関係者の研修

- ①多職種連携研修会
- ②医療・介護勉強会

## (キ) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療・介護市民講演会
- ②「わた史ノート」の出前講座
- ③広報こまきへの掲載

## (※) 在宅医療・介護連携に関する市区町村との連携

- ①近隣市町村センターとの情報交換会
- ②在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク会議
- ③愛知県地域包括ケア相談体制整備事業
- ④愛知県入退院調整支援事業
- ⑤こまきつながるくん連絡帳と他の電子@連絡帳との連携協定

## 事業推進の課題

- ①地域の医療・介護の資源の把握
- ②在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討
- ③切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築

# (ア) 地域の医療・介護の資源の把握

- 地域の医療機関、介護事業所の機能等を情報収集
- 情報を整理しリストやマップ等必要な媒体を選択して共有・活用

## ① 医療・介護マップ

- ・ 電子@連絡帳（以下「こまきつながるくん連絡帳」という。）登録施設に紐づく医療・介護マップを公開中。令和4年3月31日時点の登録施設数は286件。  
（市内263件、市外23件）

施設分類	市内	市外
病院	3	0
医科診療所	64	3
歯科診療所	10	0
薬局	25	0
介護事業所	90	19
地域包括支援センター	5	0
※その他	66	1



※その他は、障がい者支援施設や社会福祉協議会、有料老人ホームなど

# (ア) 地域の医療・介護の資源の把握

## ② 医療とケアマネー一覧

- ・ 各種施設の情報を収集して一覧を作成している。医療と介護の連携に活用できるよう、こまきつながるくん連絡帳を用いて地域の医療・介護従事者等に情報を公開した。
- ・ 公開から1年経過することに伴い、令和4年3月に更新版を公開している。また、5月末には新たに**訪問看護ステーションの一覧**の公開も開始している。

### 【一覧の種類】

小牧市医師会所属医療機関

小牧市歯科医師会所属医療機関

小牧市薬剤師会所属薬局

居宅介護支援事業所

**(NEW) 訪問看護ステーション**

医療機関名	医) 純正会 小牧第一病院	相談可能な手段(数字は優先順位)				
		面談	電話	FAX	Eメール	その他 (つながるくん)
標榜科目	内科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・呼吸器科・胃腸科 神経内科・循環器科・麻酔科・リハビリテーション科	③	②	①		
フリガナ	アクタガワ アツシ	電話連絡が可能な曜日と時間				
医師名	芥川 篤史	月	9:00~16:00	9:00~17:00		
住所	〒485-0029 小牧市中央5丁目39番地	火	9:00~16:00	9:00~17:00		
電話	0568-77-1301	水	9:00~16:00	9:00~17:00		
FAX	0568-75-8804	木	9:00~16:00	9:00~17:00		
Eメール		金	9:00~16:00	9:00~17:00		
窓口担当者	医事課(外来患者係担当)・地域医療連携室(入院患者係担当)	土	9:00~12:00	9:00~13:00		
医療機関実施状況(該当に○)		認知症に関する情報(該当に○)				
往診の実施		認知症に関する相談				
訪問診療の実施		家族のみの相談の対応				
初診での介護認定主治医意見書の記入対応		認知症サポート医養成研修受講歴				
居宅療養管理指導の算定		かかりつけ医認知症対応力向上研修				
こまきつながるくん連絡帳での連携		長谷川式の実施				
【備考】						
・基本的にはFAX対応、面談は受診時、同行をお願いします。						
・患者様の問い合わせについて、外来患者様は医事課、入院患者様は地域医療連携室にお願します。						
・意見書の依頼は初診でも記入できるか否かは各医師の判断になります。						

# (ア) 地域の医療・介護の資源の把握

## ③こまきハートフルパーキング

- ・ 令和3年3月1日から、こまきつながるくん連絡帳ユーザーが無料で利用できる「こまきハートフルパーキング」を運用開始。医療・介護従事者等が訪宅する際の駐車場の確保を推進している。

### 【利用件数】

令和2年度	5件
令和3年度	75件 (月平均6.25件)

### 【駐車場数】

令和2年度	53台
令和3年度	60台



- 駐車場の提供エリアが偏っているため市内全域に確保する必要があり、一部のリーダーによる利用が多い。普及・啓発活動が課題となっている。
- こまきつながるくん連絡帳内に「こまきハートフルパーキング」のプロジェクトを作成。「利用予約マニュアル」を掲載し、駐車場が登録される際に紹介する運用を開始。

## (イ) 在宅医療・介護連携の課題抽出

### ■ 将来の人口動態、地域特性に応じたニーズの推計（在宅医療など）

#### ① 小牧市在宅医療・介護連携推進協議会

- ・小牧市地域包括ケア推進課が主催。医療及び介護を必要とする者が、住み慣れた家庭又は地域で尊厳をもって暮らし続けられるよう、多職種の協働による在宅医療及び介護の連携の推進に関し専門的な知識を有する者と協議を行うため開催している。

#### 【所掌事項】

- (1) 在宅医療及び介護の連携に関すること。
- (2) 前号の連携を図るための多職種のネットワーク化に関すること。
- (3) 在宅医療及び介護の連携の普及啓発に関すること。
- (4) 地域ケア会議に関すること。

令和3年度の開催状況	
第1回 R3.10.21	①在宅医療・介護連携推進事業の状況報告 ②地域ケア会議の結果から抽出された地域課題について
第2回 R4.3.22発送 (書面による報告)	①事業の進捗状況について ②令和4年度の事業計画案について

## (イ) 在宅医療・介護連携の課題抽出

### ②小牧市在宅医療・介護連携サポートセンター会議

- ・在宅医療・介護連携サポートセンターが隔月第3木曜日に実施。サポートセンターの活動計画及び月次活動報告のほか、各委員による現状報告、下記内容の協議を行う。

#### 【内容】

サポートセンター事業（相談・支援）の共有  
研修会・勉強会の企画、開催  
多職種の関係機関の事業の把握  
その他、在宅医療・介護連携サポートセンター事業に関することの協議

#### 【メンバー15名】

小牧市医師会・小牧市歯科医師会・小牧市薬剤師会  
小牧市民病院・小牧第一病院・小牧市社会福祉協議会  
小牧市介護支援専門員連絡協議会・小牧市リハビリテーション連絡会  
小牧市介護保険サービス事業者連絡会（訪問看護部会）  
愛知県春日井保健所・市役所・小牧市地域包括支援センター

# (イ) 在宅医療・介護連携の課題抽出

## ③地域ケア会議

- ・個別地域ケア会議は、地域包括支援センターが主催し、多職種協働による個別ケースのケアマネジメント支援のための実務者レベルでの地域ケア会議であり、地域課題を関係者と共有することを目的としている。
- ・認知症高齢者等あんしん補償事業創設のきっかけになったほか、令和3年度は、ごみ屋敷の支援を通じた自立支援（南部圏域、篠岡圏域、北里圏域各1件）や地域支え合い推進員の支援による移動販売の開始（岩崎団地）などにも繋がっている。

### 【令和3年度の実施状況】

南部圏域	13件
小牧圏域	8件
味岡圏域	9件
篠岡圏域	8件
北里圏域	14件



◀認知症高齢者等あんしん補償事業の  
▼『認知症見守りステッカー』。お困りの現場を目撃したら小牧警察署（0568-72-0110）へ連絡を。



認知症高齢者等個人賠償責任保険も**自己負担なし**で付帯できます。

なお、支援対象者の登録には地域包括支援センターの面談が必要です。

## (ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

- 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

### ①副科紹介支援

- ・小牧市在宅医療・介護連携サポートセンターが、依頼者（主治医或いはケアマネジャー）から患者情報の提供を受け、訪問診療等を実施している副科医療機関に対して受け入れ調整を行う支援。依頼を受けてから概ね2週間以内を目安に調整を行っている。

※詳細な診療情報等のやりとりは当事者間で行ってもらう。

#### 【対象副科】

耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、婦人科

※令和4年10月現在、整形外科、皮膚科の稼働については検討中。

#### 【令和3年度実績】

2件

## (エ) 医療と介護関係者の情報共有の支援

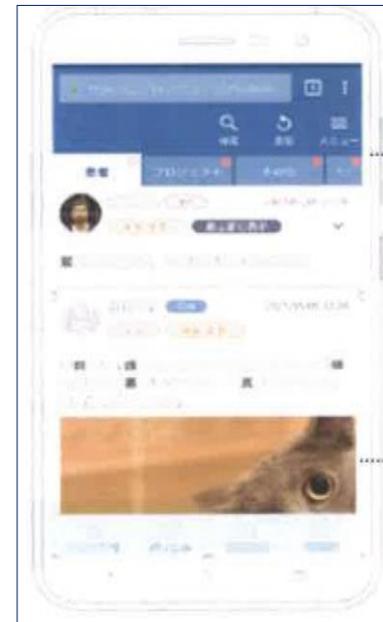
### ■在宅での見取りや入退院時に活用できるような情報共有ツールの作成・活用

#### ①こまきつながるくん連絡帳

- ・ICTを活用した連携ツールを管理・運営している。患者情報の共有のほか、市からの通知、会議等の開催案内や議事録の修正など医療・介護従事者間の連携に活用されている。スマホ・タブレットにも対応済み。（令和4年3月31日時点の登録施設数は286箇所、支援対象の患者数は210名）

#### 【具体的な活用例】

- 『新型コロナウイルスワクチン接種』プロジェクト
  - ・新型コロナウイルスワクチンに関するお知らせ
  - ・新型コロナウイルス感染症対策委員会の情報共有 など
- 患者/支援対象
  - ・訪問診療、看護、介護、検査等の実施状況の共有
  - ・在宅医から各サービス事業者への伝達事項
  - ・本人や家族の状況等の共有 ・個別ケア会議の連絡調整など



# (エ) 医療と介護関係者の情報共有の支援

## ② 医療と介護の連携シート

- 患者が入退院する際に医療機関と介護支援専門員間で、ADLやIADL、かかりつけ医やサービス利用状況等の情報を共有する目的で利用されている。

医療と介護の連携シート（入院時 / 退院・退所情報） komaki-rankai2 Ver.2

このシートは、適切な医療・介護サービスの提供を目的に導入し、関係する医療機関・介護サービス事業者等との連携の目的においてのみ使用します。各事業者様におかれましても、今後のご支援と個人情報保護の取扱いについて適切な取り扱いをお願いします。（事業者間は敬称略）

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">在宅介護支援事業所等</td></tr> <tr><td>(事業所名)</td></tr> <tr><td>(担当ケアマネージャー)</td></tr> <tr><td>電話番号</td></tr> <tr><td>(FAX番号)</td></tr> </table>	在宅介護支援事業所等	(事業所名)	(担当ケアマネージャー)	電話番号	(FAX番号)		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">入院医療機関</td></tr> <tr><td>(医療機関名)</td></tr> <tr><td>(退院支援担当者)</td></tr> <tr><td>電話番号</td></tr> <tr><td>(FAX番号)</td></tr> </table>	入院医療機関	(医療機関名)	(退院支援担当者)	電話番号	(FAX番号)
在宅介護支援事業所等												
(事業所名)												
(担当ケアマネージャー)												
電話番号												
(FAX番号)												
入院医療機関												
(医療機関名)												
(退院支援担当者)												
電話番号												
(FAX番号)												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">在宅医療機関</td></tr> <tr><td>(事業所名)</td></tr> <tr><td>(担当医名)</td></tr> <tr><td>電話番号</td></tr> <tr><td>(FAX番号)</td></tr> </table>	在宅医療機関	(事業所名)	(担当医名)	電話番号	(FAX番号)							
在宅医療機関												
(事業所名)												
(担当医名)												
電話番号												
(FAX番号)												

基本情報				
ふりがな	性別	生年月日	要介護度	認定期間
利用者名	様 男・女	明・大・超 年 月 日		年 月 日 まで
ふりがな	本人との関係	TEL ①	②	
主介護者名	様	住所	県	

▼ 入院時情報提供欄 \*別添資料( ) 無 / 枚 ▼ 退院・退所情報欄 \*別添資料( ) 無 / 枚  
\*下記欄種が別添の場合→( ) 無 / 枚

連絡先電話番号	連絡予定	年 月 日 ( ) 日
サービス	主病名	既往歴
利用状況	退院時症状	連絡: ( ) ( ) ( )
経済状況	同居状況 ( ) 自立 ( ) 見守り ( ) 一部介助 ( ) 全介助 ( )	
家族状況	療養上の注意事項 (転倒危険、留置カテーテル使用等)	
介護力	cal・水分必要(制限)量/日 ( ) kcal ( ) ml	
住環境	移動	
移動	食事	
食事	口腔ケア	
口腔ケア	入浴	
入浴	排泄	
排泄	高齢者日常生活自立度	
高齢者日常生活自立度	認知症状	
認知症状	夜間の状態	
夜間の状態		

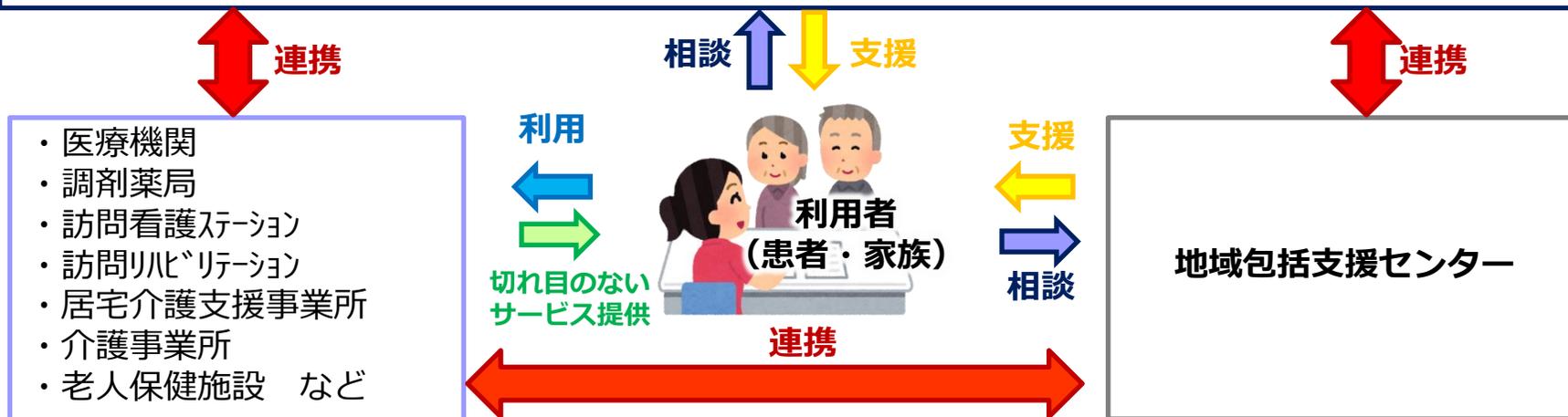
## (オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援

- コーディネーターの配置等による相談窓口の設置
- 関係者の連携を支援する相談会の開催

### ① 相談支援体制

#### 小牧市在宅医療・介護連携サポートセンター

- <職員数> 看護師2名
- <主な機能・役割>
- ・ 市民、医療・介護関係者等からの在宅医療・介護に関する相談対応
  - ・ 地域包括支援センターや医療・介護関係機関との連携  
⇒ 『顔の見える関係づくり』をサポートする
- <具体的な取り組み>
- ・ 多職種連携研修・勉強会の開催
  - ・ 市民啓発
  - ・ 医療・介護関係者への相談支援、情報提供



## (オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援

### ②相談支援実績

・小牧市在宅医療・介護連携サポートセンターが対応した相談件数

相談者		R3年度	R2年度
患者 (関係者)	本人	6	3
	家族	16	9
	親族	0	0
	その他	0	0
支援者	地域住民	1	3
	民生委員	0	0
	医療機関	4	7
	ケアマネジャー	9	1
	サービス事業者	6	3
	行政機関	2	1
	包括	20	17
	その他	3	1
合計		67	45

受付：平日午前9時～午後4時30分

※ただし、祝日、年末年始を除く。

相談内容	R3年度	R2年度
往診に関する事	4	4
訪問診療に関する事	<b>18</b>	<b>12</b>
訪問看護に関する事	1	2
専門医療機関の紹介	<b>14</b>	<b>4</b>
転院・入所先について	4	2
難病に関する制度、入所、レスパイト	0	0
ケアプランの相談	1	1
他科、他医療機関への変更について	0	1
病状管理に関する事	3	4
医療スタッフとの関わり方	0	1
薬に関する事	0	4
地域包括支援センターの紹介	0	1
医療機関への受診拒否について	1	5
その他	<b>20</b>	<b>4</b>
合計	66	45

## (カ) 医療・介護関係者の研修

- 多職種の協働・連携に関する研修の実施（地域ケア会議含む）
- 医療・介護に関する研修の実施

### ① 多職種連携研修会

- ・ 小牧市在宅医療・介護連携サポートセンターが主催。医療・介護に従事する専門職が参加し、多職種で検討を行う研修会。

令和3年度の開催状況			
第1回 R4.2.17	コロナ禍の在宅医療介護連携について 対面・オンライン開催	事例提供者 訪問看護ステーションこまち 大井上由香里氏 あおぞらの里小牧ケアプランセンター 武藤さゆり氏	28名

### ② 医療・介護勉強会

- ・ 小牧市在宅医療・介護連携サポートセンターが主催。介護の現場でも使える医療的知識を中心としたテーマの勉強会。

令和3年度の開催状況			
第1回 R3.10.15 R3.10.28	死を今一度考える 対面・オンライン開催	講師サンエイクリニック浅井真嗣氏	63名
第2回 R3.12.15	小牧ごっくんスコア2021(摂食嚥下評価スコア小牧版) 対面・オンライン開催	講師西田歯科医院西田泰大氏 小牧第一病院古賀暖氏	25名

## (キ) 地域住民への普及啓発

- 地域住民を対象にしたシンポジウム等の開催
- パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した在宅医療・介護サービスに関する普及啓発
- 在宅での看取りについての講演会の開催等

### ① 在宅医療・介護市民講演会

- ・ 在宅医療と介護の連携、終末期ケアのあり方や在宅での看取り等について地域住民に解りやすく解説すること等を目的とした講演会。小牧市では、「医療がおうちにやってくる」「どうしよう！お父さんが認知症になっちゃった」「あなたはどうか考えますか？最高の人生の終わり方」等をテーマに講演会を開催。
- ・ 令和3年度は実施実績なし。

### ② 「わた史ノート」の出前講座

- ・ 小牧市版エンディングノート「わた史ノート」について、出前講座を実施している。また、出前講座の案内は、サロン団体の代表者が集まるふれあい・いきいきサロン連絡会等で周知している。

#### 【実施状況】

開催回数 3回 参加者計23名

## (キ) 地域住民への普及啓発

### ③ 広報こまきへの掲載

・ 偶数月の15日号で在宅医療コーナー『知ってる？在宅医療』を掲載し、在宅医療の基本的な仕組み及び在宅医療相談窓口等を案内した。

- 4月15日号在宅医療・介護連携サポートセンターとは
- 6月15日号在宅医療とは？
- 8月15日号在宅医療を支えている専門職の人たち
- 10月15日号訪問歯科診療について
- 12月15日号薬剤師による訪問薬剤管理について
- 2月15日号いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていくために

## (※) 在宅医療・介護連携に関する市区町村との連携

- 同一の二次医療圏内にある市町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

### ① 在宅医療・介護情報交換会

- ・ 2ヶ月に1回、各地区に設置されたサポートセンター及び保健所が参加する広域の情報交換会。司会、書記等は持ち回り。小牧、岩倉、尾北、西名古屋、稲沢などの近隣医療圏だけでなく、瀬戸旭、知多市在宅ケアセンター、東名古屋医師会総研やまびこなど遠方医療圏の団体も参加しているほか、保健所は春日井保健所、清須保健所、江南保健所が参加している。

### ② 在宅医療・介護連携推進事業ネットワーク会議

- ・ 愛知県医師会が主催。在宅医療・介護連携及び地域包括ケアの推進を目的に開催されている会議。市役所職員及び各圏域のサポートセンター職員が参加している。

#### 令和3年度の実施状況

令和3年度の実施状況		
第1回 R3.11.8	・ 地域医療・介護の現状と課題 ～2019年度地域医療・介護評価指標調査～	名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部 先端医療・臨床研究支援センター センター長 水野 正明氏
第2回 R4.3.30	・ 評価指標 市町村別回答の抽出結果 ・ 在宅医療・介護連携推進のための地域の抽出とその 解決策	名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部 先端医療・臨床研究支援センター センター長 水野 正明氏

# (※) 在宅医療・介護連携に関する市区町村との連携

## ③ 愛知県地域包括ケア相談体制整備事業

- ・ 愛知県高齢福祉課の事業。国立研究開発法人国立長寿医療研究センターの在宅医療・地域医療連携推進部が地域包括ケアに関する研修会（情報収集型研修会）を開催しており、市役所職員及び地域の医療・介護関係者が参加している。

令和3年度 実施状況			
第1回 R3.6.29	令和3年度 情報収集型研修会受講ガイダンス	第5回 R3.9.13	地域における（要介護）高齢者の災害準備を考える
第2回 R3.7.30	オンライン研修運営のためのオンラインワールドカフェ体験	第6回 R3.12.17	質の高い地域完結型医療のための地域医療ネットワーク
第3回 R3.7.27	認知症の人が暮らし続けられる地域づくり	第7回 R4.1.13	高齢者の暮らしと住まいへの支援
第4回 R3.8.20	生活を支えるための成年後見制度の利用	第8回 R4.2.22	現地のかかりつけ医から見た新型コロナ禍における英国の医療

# (※) 在宅医療・介護連携に関する市区町村との連携

## ④ 愛知県入退院調整支援事業

- ・切れ目なく病院と地域ケアが連携することを目標として、入退院支援に係る学習や **モデルルールの検討と策定**、評価、地域の医療や介護の機関が連携できるよう組織化することなどを目的とした事業。（令和3年度～令和5年度）
- ・愛知県高齢福祉課が担当し、国立研究開発法人国立長寿医療研究センターの在宅医療・地域医療連携推進部が研修会を開催。尾張北部医療圏及び海部医療圏の自治体職員及び地域の医療・介護関係者が参加している。

### 【小牧市からの参加者】

地域包括支援センター（味岡・北里）、在宅医療・介護連携サポートセンター、小牧市介護支援専門員連絡協議会、小牧市民病院（令和4年度から）、小牧市役所

令和3年度 実施状況			
第1回 R3.10.18	キックオフ会議	第4回 R4.1.11	地域診断をもとに入退院支援に関する地域の課題抽出に向けたワーク
第2回 R3.11.18	ケースメソッド	第5回 R4.2.7	ケースメソッド 研修まとめ 令和4年度研修に向けて
第3回 R3.12.13	自治体職員としての役割と組織化を考える		

## (※) 在宅医療・介護連携に関する市区町村との連携

### ⑤ こまきつながるくん連絡帳と他の電子@連絡帳との連携協定

- ・ こまきつながるくん連絡帳では、愛知県内の他の電子@連絡帳と連携協定を締結。このことにより、市を跨いで医療（介護）サービスを受ける患者の情報を共有したり、他市町村のプロジェクトに参加することが可能となっている。
- ・ 令和3年度は2市町村と広域連携協定を締結したほか、個別の連携協定を2医療機関と締結した。

- **広域連携協定** 愛知県内48市町村（県内54市町村）
- **個別連携協定** 2機関（名古屋大学医学部附属病院、愛知県医療療育総合センター）

# 事業推進の課題

## ①地域の医療・介護の資源の共有

- ・複数の団体・部署等が、それぞれ医療や介護の各資源リスト等を作成しており、その情報の共有が困難。

## ②抽出された課題の対応策を検討する場の整理

- ・現場の医療・介護関係者から発信された課題に特化して対応策やルール化の協議を行う各専門職種の実務者級会議が必要

## ③「顔と顔が見える関係」の希薄化

- ・医療・福祉に関する情勢が大きく変化する中、新型コロナウイルス感染症流行により、会議の短時間化やオンライン化で合理化が進む一方、施設訪問、座談会、意見交換会などの自粛によって関係性が希薄化している。



今後も関係団体等に意見聴取し、検討しながら実施していく。